

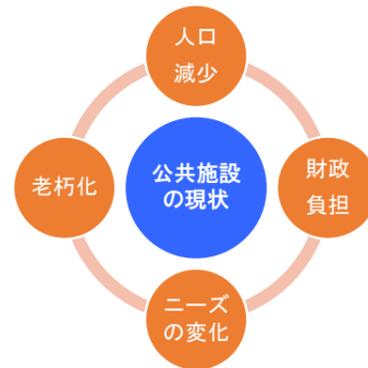
# 島田市個別施設計画～公共建築物編～概要版

## 1. 個別施設計画策定の背景及び目的

### ■ 現状と課題

本市では、人口の増加や行政需要の拡大などを背景に、主に昭和50年代から60年代にかけて公共施設等の建設・整備が行われてきました。

これらの公共施設等は、年月の経過に伴い、老朽化が進行しており、今後、人口減少や人口構成の変化とともに財政支出の構造が大きく変化することが予測される中で、適切な改修、更新等を行い、財政負担の平準化を図りながら、公共施設等を最適な状態で持続可能なものとしていくことが大きな課題となってきます。



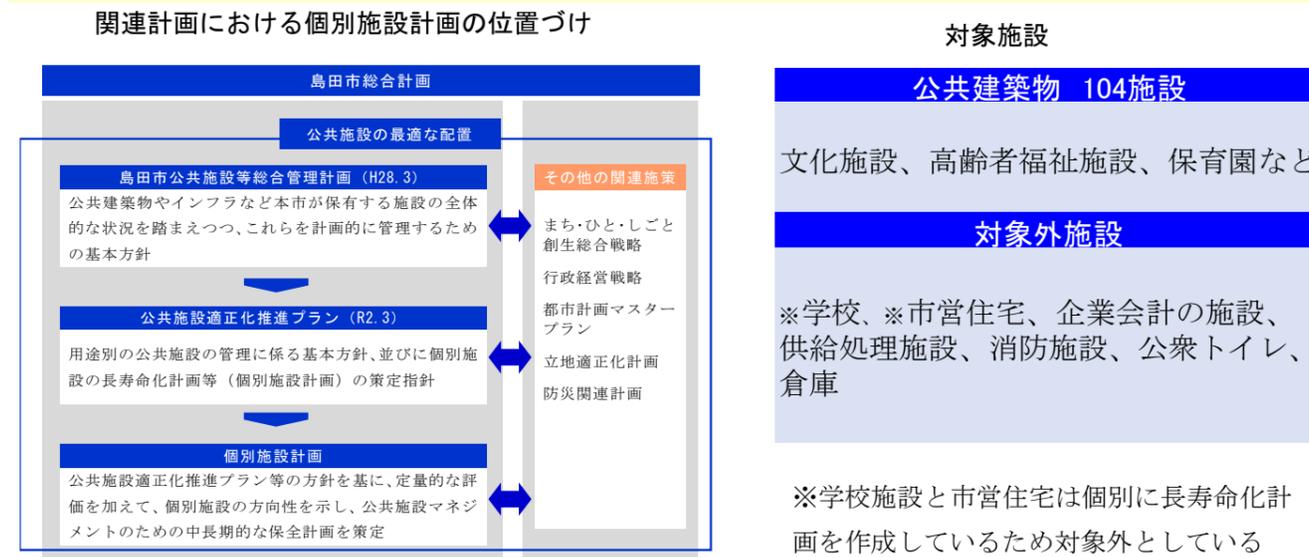
### ■ 目的

個別施設の今後の方向性の分類化	個別施設の今後の方向性について、品質・供給・財務の視点から、劣化度、稼働率、経費状況などの定量的な評価を行い、個別施設の方針を検討するうえでの方向性を分類します。
長寿命化によるライフサイクルコストの縮減	計画的・予防的な維持管理・修繕・更新等を行い、機能向上または回復させることで長寿命化を図り、ライフサイクルコストの縮減を推進します。
持続可能な公共施設のマネジメント	個別施設ごとの今後の方向性や長寿命化計画などの情報を統合して、予算編成、財政計画などを踏まえた総合的な視点による公共施設のマネジメントにより、財政負担の軽減・平準化を図り、持続可能な行財政運営を推進します。

## 2. 個別施設計画の基本方針

### ■ 公共施設マネジメント基本方針

本市では総合管理計画で公共施設等の管理にあたっての最重要課題として、「品質の適正化」、「保有量の適正化」、「管理費の適正化」の3点をあげています。この基本的な考え方を踏まえて、本計画では、老朽化の状況や利用状況等の評価により個別施設の今後の方向性を検討し、併せて、期待される耐用年数までの使用を可能とするための効果的かつ計画的な予防保全措置を講じることで長寿命化を推進し、ライフサイクルコストの縮減を図ります。

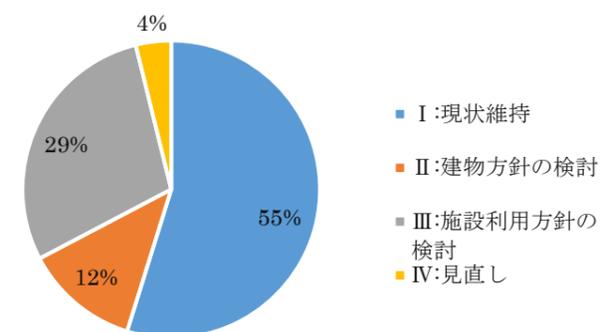


## 3. 個別施設の方針

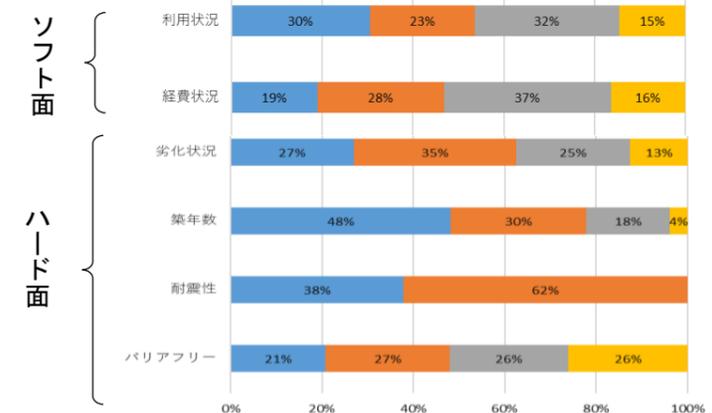
個別施設の今後の方向性は、各種点検結果、劣化状況調査等の結果を基に、品質、供給、財務の観点から、**ハード面**と**ソフト面**の2つの評価軸で定量的な評価を行います。定量的評価の結果から、右図に示す「定量的評価に基づく方向性の分類」において、今後の方向性を「現状維持」、「建物方針の検討」、「施設利用方針の検討」、「見直し」の4つのグループに分類し、個別施設の方針検討に向けた具体的な方向性を示します。



### 個別施設の今後の方向性



### ハード面及びソフト面の評価

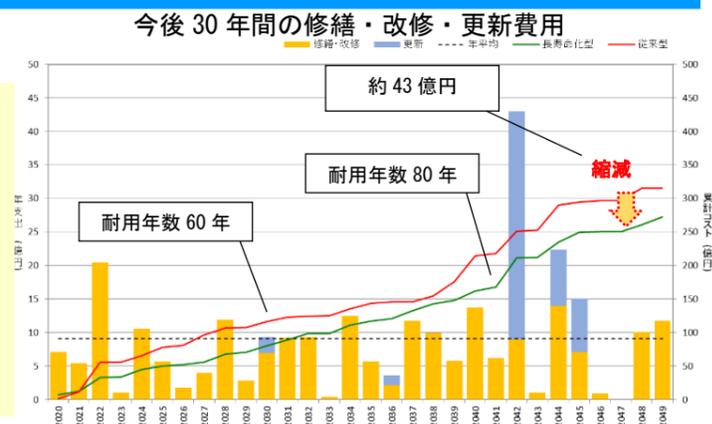


## 4. 施設の長寿命化実現に向けた方策

### ■ 中長期保全計画の活用

公共建築物の維持管理・改修・更新等については、市の施策全体から、その施設の重要度や工事の緊急性、財政支出の平準化の観点から踏まえ、改修・更新等の実施を適切に判断していきます。

計画的な施設の保全を行い、施設を安心・安全に利用できる状態を維持するとともに、長寿命化やライフサイクルコストの縮減を図ります。



## 5. 公共施設の総合的かつ計画的な運用のために

公共施設を取り巻く現状は、少子高齢化、老朽化の進行など刻々と変化しており、変化に応じて適宜計画を見直すなど、公共施設マネジメントに関する継続的な取り組みを行う必要があります。

本計画を含めた公共施設のマネジメントサイクルを一連の流れとした仕組みを構築し、持続可能な取組みを推進します。

### 公共施設マネジメントサイクルの仕組み

